

千葉県・千葉市教員等育成指標～信頼される質の高い教員等の育成を目指して～

養護教諭の資質向上に関する指標

六つの柱	構成要素	養成段階	千葉県・千葉市が求める教員像	ステージⅠ 【成長期】 (保健室経営、学校保健に関する指導等) 養護教諭としての 自覚と資質能力の向上	ステージⅡ 【発展期】 (学校保健の推進、校務分掌等の ミドルリーダー) ミドルリーダーとしての 自覚と資質能力の向上	ステージⅢ 【充実期】 (学校運営等、職員全体及び地域の 養護教諭へ指導・助言) チーム学校をリードする 自覚と資質能力の向上	
				教職に必要な素養	使命感 責任感 教育的愛情 高い倫理観 コンプライアンス 服務規律の遵守	教職の意義 教員の役割 教職への意欲 課せられる義務等	<p>千葉県・千葉市が求める教員像</p> <p>教育実践・ちば！教職たまごプロジェクト（指導教員のもとで体験を積み、学校教育の実践を体験的に理解する）</p> <p>○人間性豊かで、教育愛と使命感に満ちた教員</p> <p>○高い倫理観を持ち、心身共に健康で、明朗、快活な教員</p> <p>○幅広い教養と学習指導の専門性を身に付けた教員</p> <p>○幼児児童生徒の成長と発達を理解し、悩みや思いを受け止め、支援できる教員</p> <p>○組織の一員としての責任感と協調性を持ち、互いに高め合う教員</p>
社会性 コミュニケーション能力	広い視野 教養等を学び続ける意欲 コミュニケーション能力	健康診断や健康観察等を通じて子供の健康状態を把握するとともに、救急処置、疾病の管理・予防、学校環境衛生管理に関する専門的な知識や技能を活かし、子供が安心して学校生活を送れるよう組織的に対応している。救急体制や心のケアの支援体制等、専門的立場から校内研修や関係機関と連携する等、校内の危機管理体制の整備に積極的に参画している。	学習指導要領を理解した上で、学級担任や教科担当等と連携し、養護教諭の専門性を生かした保健教育に積極的に参画している。子供の発達課題や健康課題を把握し、課題解決に向けた保健教育に取り組んでいる。		養護教諭の職務の特質から子供の心身の健康課題を発見しやすい立場にあることを生かし、子供の小さな変化に気づき、多様化・複雑化する子供の心身の健康課題の早期発見・早期対応に努めている。また、子供一人一人の発達の段階を考慮した健康相談や保健指導を通じて子供の自己解決能力を育み、専門的立場から受診の必要性を判断し、教職員や関係機関と連携する等、健康課題の解決に向けて取り組んでいる。		
社会の変化への対応 広い視野 学び続ける意欲	教育の理念、歴史、思想 社会的・制度的・経営的事項等 について基礎的知識（選択）	学校保健計画や学校安全計画の立案、実施、評価に積極的に参画するとともに、子供の健康課題をとらえた保健室経営計画を立案し、学校教育目標や学校保健目標等に基づく保健室経営を計画的、組織的に進めている。また、保健室に必要な環境を整備し、学校保健活動のセンター的機能を果たしている。	学校保健計画や学校安全計画の立案、実施、評価に積極的に参画するとともに、子供の健康課題をとらえた保健室経営計画を立案し、学校教育目標や学校保健目標等に基づく保健室経営を計画的、組織的に進めている。また、保健室に必要な環境を整備し、学校保健活動のセンター的機能を果たしている。		学校保健活動の推進において、全体的な推進体制の中核として、教職員や関係者の連携を調整するコーディネーター的役割を果たしている。保健主事等とともに、学校保健委員会等の企画・運営に積極的に参画している。	学校保健活動の推進において、全体的な推進体制の中核として、教職員や関係者の連携を調整するコーディネーター的役割を果たしている。保健主事等とともに、学校保健委員会等の企画・運営に積極的に参画している。	
教職に関する教養	教育の理念、歴史、思想 社会的・制度的・経営的事項等 について基礎的知識（選択）	保健室経営に関する基本的な知識と技能の習得	学校保健活動の推進において、全体的な推進体制の中核として、教職員や関係者の連携を調整するコーディネーター的役割を果たしている。保健主事等とともに、学校保健委員会等の企画・運営に積極的に参画している。		学校保健活動の推進において、全体的な推進体制の中核として、教職員や関係者の連携を調整するコーディネーター的役割を果たしている。保健主事等とともに、学校保健委員会等の企画・運営に積極的に参画している。	学校保健活動の推進において、全体的な推進体制の中核として、教職員や関係者の連携を調整するコーディネーター的役割を果たしている。保健主事等とともに、学校保健委員会等の企画・運営に積極的に参画している。	
専門領域に関する資質能力	保健管理	学校保健安全法の理解 保健管理に関する基本的な理解と技能の習得	子供の心身の発達の過程、特徴 学校における教育相談の意義、 理論及び進め方 生徒指導の意義	子供の心身の発達の過程や特徴を理解し、子供との信頼関係を構築するとともに、学校の教育活動全体を通じて、子供が自分らしい生き方を実現するための力を専門的な立場から育成している。教育相談や生徒指導の意義や理論を理解し、子供一人一人の課題の解決に向け、個々の悩みや思いを共感的に受け止め、学校生活への適応や人格の成長への支援をしている。	人権教育の理念のもと、いじめ、不登校、情報モラル等生徒指導上の課題に対し、他の教職員、保護者、関係機関等との連携を図りながら、適切に指導している。	カリキュラム・マネジメントの意義を理解し、教科等横断的な視点や教育課程の評価、人的・物的な体制の確保・改善等の観点を持って、組織的かつ計画的に教育課程を編成・実施し、常に学校の実態に応じた改善をしている。	
	保健教育	学習指導要領の理解 保健教育の基本的な知識と技能の習得	人権教育の理念 理念に基づく、いじめ等の生徒指導上の課題に対する適切な対応の在り方	人権教育の理念のもと、いじめ、不登校、情報モラル等生徒指導上の課題に対し、他の教職員、保護者、関係機関等との連携を図りながら、適切に指導している。	人権教育の理念のもと、いじめ、不登校、情報モラル等生徒指導上の課題に対し、他の教職員、保護者、関係機関等との連携を図りながら、適切に指導している。	カリキュラム・マネジメントの意義を理解し、教科等横断的な視点や教育課程の評価、人的・物的な体制の確保・改善等の観点を持って、組織的かつ計画的に教育課程を編成・実施し、常に学校の実態に応じた改善をしている。	
	健康相談及び保健指導	健康相談及び保健指導の基本的な知識と技能の習得	各学校で編成される教育課程についての意義及び編成の方法 各学校の実情に合わせてカリキュラム・マネジメントを行うことの意味	各学校で編成される教育課程についての意義及び編成の方法 各学校の実情に合わせてカリキュラム・マネジメントを行うことの意味	各学校で編成される教育課程についての意義及び編成の方法 各学校の実情に合わせてカリキュラム・マネジメントを行うことの意味	各学校で編成される教育課程についての意義及び編成の方法 各学校の実情に合わせてカリキュラム・マネジメントを行うことの意味	
	保健室経営	保健室経営に関する基本的な知識と技能の習得	校内組織や校務分掌の理解 養護教諭に求められる役割	校内組織や校務分掌の理解 養護教諭に求められる役割	校内組織や校務分掌の理解 養護教諭に求められる役割	校内組織や校務分掌の理解 養護教諭に求められる役割	
生徒指導等に関する実践的指導力	学校保健組織活動	保健組織活動に関する基本的な理解	取組事例を踏まえた家庭・地域との連携、協働の仕方 学校内外の関係機関との連携、分担して対応することの必要性	取組事例を踏まえた家庭・地域との連携、協働の仕方 学校内外の関係機関との連携、分担して対応することの必要性	取組事例を踏まえた家庭・地域との連携、協働の仕方 学校内外の関係機関との連携、分担して対応することの必要性	取組事例を踏まえた家庭・地域との連携、協働の仕方 学校内外の関係機関との連携、分担して対応することの必要性	
	教育課程の管理・運用	各学校で編成される教育課程についての意義及び編成の方法 各学校の実情に合わせてカリキュラム・マネジメントを行うことの意味	研究と修養の必要性 資質能力の向上の必要性	研究と修養の必要性 資質能力の向上の必要性	研究と修養の必要性 資質能力の向上の必要性	研究と修養の必要性 資質能力の向上の必要性	
	校務分掌と連携・調整	校内組織や校務分掌の理解 養護教諭に求められる役割	特別な配慮や支援を必要とする子供の理解	特別な配慮や支援を必要とする子供の特性及び発達の理解	特別な配慮や支援を必要とする子供の特性及び発達の理解	特別な配慮や支援を必要とする子供の特性及び発達の理解	
	家庭や地域、関係機関等との連携・協働	取組事例を踏まえた家庭・地域との連携、協働の仕方 学校内外の関係機関との連携、分担して対応することの必要性	学習上・生活上の支援	学習上の支援の方法と生活上の支援の方法	学習上の支援の方法と生活上の支援の方法	学習上の支援の方法と生活上の支援の方法	
チーム学校を支える資質能力	研修（研究）体制	研究と修養の必要性 資質能力の向上の必要性	特別な配慮や支援を必要とする子供の理解	特別な配慮や支援を必要とする子供の特性及び発達の理解	特別な配慮や支援を必要とする子供の特性及び発達の理解	特別な配慮や支援を必要とする子供の特性及び発達の理解	
	特別な配慮や支援を必要とする子供の理解	特別な配慮や支援を必要とする子供の特性及び発達の理解	特別な配慮や支援を必要とする子供の理解	特別な配慮や支援を必要とする子供の特性及び発達の理解	特別な配慮や支援を必要とする子供の特性及び発達の理解	特別な配慮や支援を必要とする子供の特性及び発達の理解	
ICTや情報活用等	学校保健に関するICT活用	情報活用能力の育成 ICTを活用した保健教育等の指導法 ICTを活用した子供の支援	特別な配慮や支援を必要とする子供の理解	特別な配慮や支援を必要とする子供の特性及び発達の理解	特別な配慮や支援を必要とする子供の特性及び発達の理解	特別な配慮や支援を必要とする子供の特性及び発達の理解	
	ICTによる校務効率化	情報機器の操作 情報機器の活用に関する理論及び方法 ICTを活用した校務の推進	特別な配慮や支援を必要とする子供の理解	特別な配慮や支援を必要とする子供の特性及び発達の理解	特別な配慮や支援を必要とする子供の特性及び発達の理解	特別な配慮や支援を必要とする子供の特性及び発達の理解	

栄養教諭の資質向上に関する指標

六つの柱	構成要素	養成段階	千葉県・千葉市が求める教員像	ステージⅠ 【成長期】 (給食管理、食に関する指導等) 栄養教諭としての 自覚と資質能力の向上	ステージⅡ 【発展期】 (給食管理、校務分掌等の ミドルリーダー) ミドルリーダーとしての 自覚と資質能力の向上	ステージⅢ 【充実期】 (学校運営等、職員全体及び地域の栄養教諭 へ指導・助言) チーム学校をリードする 自覚と資質能力の向上
				<p>使命感 責任感 教育的愛情 高い倫理観 コンプライアンス 服務規律の遵守</p> <p>社会性 コミュニケーション能力</p> <p>社会の変化への対応 広い視野 学び続ける意欲</p> <p>教職に関する教養</p>	<p>教職の意義 教員の役割 教職への意欲 課せられる義務等</p> <p>広い視野 教養等を学び続ける意欲 コミュニケーション能力</p> <p>教育の理念、歴史、思想 社会的・制度的・経営的事項等 について基礎的知識（選択）</p>	<p>千葉県・千葉市が求める教員像</p> <p>○人間性豊かで、教育愛と使命感に満ちた教員</p> <p>○高い倫理観を持ち、心身共に健康で、明朗、快活な教員</p> <p>○幅広い教養と学習指導の専門性を身に付けた教員</p> <p>○幼児児童生徒の成長と発達を理解し、悩みや思いを受け止め、支援できる教員</p> <p>○組織の一員としての責任感と協調性を持ち、互いに高め合う教員</p>
<p>教科等における食に関する指導</p> <p>給食の時間における食に関する指導</p> <p>個別的な相談指導</p> <p>栄養管理</p> <p>衛生管理</p>	<p>学習指導要領に示された教科領域の目標、ねらい、内容に応じた食に関する指導技術 食育の視点</p> <p>給食指導の指導技術 食に関する指導の指導技術</p> <p>栄養学の知識に基づいた対応 想定される相談指導の理解</p> <p>学校給食実施基準等法令に対する正しい理解 栄養管理と食育の連携</p> <p>学校給食衛生管理基準等法令に基づいた学校給食の衛生管理に対する正しい理解 衛生管理と指導の連携</p>	<p>教育実践（指導教員のもとで体験を積み、学校教育の実態を体験的に理解する）</p>	<p>○幅広い教養と学習指導の専門性を身に付けた教員</p>	<p>○高い倫理観を持ち、心身共に健康で、明朗、快活な教員</p>	<p>○幼児児童生徒の成長と発達を理解し、悩みや思いを受け止め、支援できる教員</p>	
<p>子供の発達過程や特徴の理解と信頼関係の構築 教育相談及び生徒指導 個別指導</p> <p>人権教育の推進 生徒指導上の課題への対応</p>	<p>子供の心身の発達の過程、特徴 学校における教育相談の意義、理論及び進め方 生徒指導の意義</p> <p>人権教育の理念 理念に基づく、いじめ等の生徒指導上の課題に対する適切な対応の在り方</p>					
<p>教育課程の管理・運用</p> <p>校務分掌と連携・調整</p> <p>家庭や地域、関係機関等との連携・協働</p> <p>研修（研究）体制</p>	<p>各学校で編成される教育課程についての意義及び編成の方法 各学校の実情に合わせてカリキュラム・マネジメントを行うことの意義</p> <p>校内組織や公務分掌の理解 食育推進の役割</p> <p>取組事例を踏まえた家庭・地域との連携、協働の仕方 学校内外の関係機関との連携、分担して対応することの必要性</p> <p>研究と修養の必要性 資質能力の向上の必要性</p>					
<p>特別な配慮や支援を必要とする子供の理解</p> <p>学習上・生活上の支援</p>	<p>特別な配慮や支援を必要とする子供の特性及び発達の理解</p> <p>学習上の支援の方法と生活上の支援の方法</p>					
<p>ICTや情報・教育データの活用等</p> <p>食に関する指導におけるICT活用</p> <p>ICTによる校務効率化</p>	<p>情報活用能力の育成 ICTを活用した食に関する指導法 ICTを活用した子供の支援</p> <p>情報機器の操作 情報機器の活用に関する理論及び方法 ICTを活用した校務の推進</p>					

幼稚園等教諭の資質向上に関する指標

五つの柱	構成要素	養成段階	千葉県・千葉市が求める教員像	ステージⅠ 【成長期】 (学級経営等) 学級担任等としての 自覚と資質能力の向上	ステージⅡ 【発展期】 (学年経営、園務分掌主任等の ミドルリーダー) ミドルリーダーとしての 自覚と資質能力の向上	ステージⅢ 【充実期】 (園運営等、職員全体へ指導・助言) チーム学校をリードする 自覚と資質能力の向上	
教職に必要な素養	使命感 責任感 教育的愛情 高い倫理観 コンプライアンス 服務規律の遵守	教職の意義 教員の役割 教職への意欲 課せられる義務等	<p>○人間性豊かで、教育愛と使命感に満ちた教員</p> <p>○高い倫理観を持ち、心身共に健康で、明朗、快活な教員</p> <p>○幅広い教養と学習指導の専門性を身に付けた教員</p> <p>○幼児児童生徒の成長と発達を理解し、悩みや思いを受け止め、支援できる教員</p> <p>○組織の一員としての責任感と協調性を持ち、互いに高め合う教員</p>	教員としての職務に対する使命感、責任感、教育的愛情を持ち、教職に対する強い情熱を持っている。また、教育公務員として高い倫理観と不祥事根絶への意識を持ち、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行している。			
	社会性 コミュニケーション能力	広い視野 学び続ける意欲 コミュニケーション能力		豊かな人間性や人権意識を持ち、他の教職員や幼児、保護者、地域住民等と、自らの意見も効果的に伝えつつ、円滑なコミュニケーションを取り、良好な人間関係を構築している。			
	社会の変化への対応 広い視野 学び続ける意欲	教育の理念、歴史、思想 社会的・制度的・経営的事項等 についての基礎的知識(選択)		教育を取り巻く環境の変化を前向きに受け止め、教職生涯を通じて探求心を持ちつつ自律的かつ継続的に新しい知識・技能を学び続けている。			
	教職に関する教養	幼稚園教育要領に示された領域のねらい、内容		教育に関し、社会的・制度的事項やその意義、歴史等について理解するとともに、最新の動向に関し情報を収集している。			
保育に関する実践的指導力	各領域についての専門性	基礎的な保育指導理論や発達や学びの過程 指導技術 具体的な保育計画や保育を構想する方法		○高い倫理観を持ち、心身共に健康で、明朗、快活な教員	幼児期の教育が、小学校以降の生活や学習の基盤の育成につながることを理解し、各領域のねらいと内容に基づく活動全体を通して、幼児期の教育において育みたい資質能力を育成するための力量を身に付けている。		
	環境の構成 保育の展開	幼児の心身の発達の過程、特徴、幼児理解の必要性、一人一人の発達の特性に応じた指導		○幅広い教養と学習指導の専門性を身に付けた教員	幼児の生活経験や心身の発達の過程に関する理解に基づき、幼児の健やかな成長に向けた環境の構成と保育の展開を行うとともに、自身の保育の評価を適切に行い、継続的に改善している。		
	教育に関する相談 個別の支援	園における教育相談の意義及び理論 教育相談を進める際に必要な基礎的知識		○幼児児童生徒の成長と発達を理解し、悩みや思いを受け止め、支援できる教員	幼児期の生活は、大人との信頼関係に支えられていることを理解し、幼児との信頼関係を構築するとともに、幼児一人一人を多面的・多角的に捉え、よさを生かし可能性を引き出す指導をしている。		
	人権教育の推進	人権教育の理念 理念に基づく、いじめ等の指導上の課題に対する適切な対応の在り方		○組織の一員としての責任感と協調性を持ち、互いに高め合う教員	教育に関する相談の意義や理論を理解し、幼児一人一人の課題の解決に向け、個々の思いや姿を共感的に受け止め、園生活への適応や人格形成の基礎を培うための支援をしている。また、教育に関する保護者の相談に応じ、保護者と連携を図っている。		
	キャリア教育	意義及び理論、指導の在り方等			人権教育の理念のもと、相手の気持ちや自分の言動を体験を通して考えさせたり、人としてしてはならないことの気付きを促したりしている。また、保育上の課題に対し、他の教職員、保護者、関係機関等との連携を図りながら、一人一人の幼児に適切に指導している。		
	教育課程の管理・運用	各園で編成される教育課程についての意義及び編成の方法 各園の実情に合わせてカリキュラム・マネジメントを行うことの意義			幼児が社会生活と関わることの意義を理解するとともに、県の産業構造等を把握し、地域の身近な人と触れ合いながら、園の教育活動全体を通じて、幼児が自分らしい生き方をするための支援をしている。		
チーム学校を支える資質能力	園務分掌と連携・調整	指導以外の園務を含めた教員の職務の全体像			カリキュラム・マネジメントの意義を理解し、教育課程の評価、人的・物的な体制の確保・改善等の観点を持って、組織的かつ計画的に教育課程を編成・実施し、常に園の実態に応じた改善をしている。		
	家庭や地域、関係機関等との連携・協働	取組事例を踏まえた家庭・地域との連携、協働の仕方 園の担う役割が拡大する中、内外の関係機関との連携、分担して対応することの必要性			限られた時間や資源を効率的に用いつつ、園運営の持続的な改善を支えられるよう、園務に積極的に参画し組織の中で自らの役割を果たしている。		
	研修(研究)体制	研究と修養の必要性 資質能力の向上の必要性		家庭や地域、就学前から高等教育までを通じた異校種間及びその他の関係機関との連携・協働に努め、地域とともにある園づくりに取り組んでいる。また、小学校教育との円滑な接続のため、幼児と児童が交流できる機会を積極的に設けている。			
	特別な配慮や支援を必要とする幼児の理解	特別な配慮や支援を必要とする幼児の特性及び発達の理解		自らの研修履歴や学びを振り返り、研修(研究)における成果と課題を把握するとともに、教員としての資質能力の向上を図るために必要な研究と修養に努めている。また、園内研修を教員同士の学び合いの機会として捉え、積極的に参加している。			
ICTや情報・教育データの活用等	保育に関するICT活用	保育におけるICTの活用法 ICTを活用した幼児の支援		特別な配慮や支援を必要とする幼児の特性等を理解し、きめ細かく支援するために、幼児一人一人の教育的ニーズを把握している。			
	ICTによる園務効率化	情報機器の操作 情報機器の活用に関する理論及び方法 ICTを活用した園務の推進		他の教職員、保護者、関係機関等と連携しながら、特別な配慮や支援を必要とする幼児の教育課程の編成について適切に対応し、一人一人の状況に応じた生活上の支援を工夫している。			
				園におけるICT活用の意義を理解し、幼児の生活や学びが豊かになるように、ICTを効果的に活用し、保育実践をしている。			
			ICTは幼児期の教育を支える基本的なツールとして必要不可欠なことを理解し、教育データの蓄積・分析・活用等を通して、園務の効率化を進めている。				

園長の資質向上に関する指標			
四つの柱	構成要素	指 標	
園長に必要な素養	総合的な人間力	豊かな人間性に加え、的確な判断力、決断力、交渉力等、組織のリーダーとしての人間的魅力を備え、教職員や幼児、保護者、地域住民等と円滑なコミュニケーションを取り、信頼関係を構築している。	
	教育の意義や社会的役割の理解	園長としての使命感、責任感、教育的愛情を持ち、教育が社会的な課題を解決することに資するものであることを理解し、より高度な自律的な学びを継続している。	
園のビジョンの構築・提示	教育方針、施策等の把握及び推進	社会の状況や教育を取り巻く環境の変化を注視しながら、国や県及び市町村の教育計画や施策に精通し、園経営に生かしている。	
	情報収集・整理・分析・共有	教育活動に関わる様々なデータや園が置かれている内外環境に関する情報（自らの園の強み・弱み、昨今の園を取り巻く課題など）を収集している。また、収集した情報を整理・分析し、適切な状況・課題把握を踏まえ、新たに取り入れるべき知識や技能に関して教職員と認識を共有している。	
	園の経営方針の策定	目指す幼児像を明確にした特色ある園のビジョンを描き、教育成果の向上を目指して、園経営の基本方針及び計画を構築し、具体的かつ明確に教職員に発信し、共有している。	
一人一人の強みを生かしたチーム学校の実現	人材育成	園内研修の充実	園を教職員の学びのコミュニティと捉え、自律的な研修組織として機能させていくことが重要であることを認識し、自園の教育課題に対応した協働的な学びを組織全体で行い、その成果を教職員間で共有するなど、園内研修を活性化している。
		資質向上に関する指導助言	教職員の研修履歴を把握し、園が目指す教育を進めるために必要な専門性・能力の確保などの観点から、対話に基づき研修受講の奨励（情報提供や指導助言）を行っている。また、定期的に保育等の観察や指導助言を実施するなど、自園の教職員の資質能力の向上に適切に関わっている。
		人材育成と園の活性化につながる人事評価	教職員の園務の取組状況を把握し、能力と業績を適正に評価することで、教職員との信頼関係を構築しながら、一人一人のキャリアステージ等に応じた指導助言により、資質向上を促し、園全体を活性化している。
	組織マネジメント	カリキュラム・マネジメント	「社会に開かれた教育課程」の実現に向け、必要な人的・物的資源等を効果的に組み合わせながら教育課程を編成し、その評価と改善を行うなど、カリキュラム・マネジメントを推進している。
		多様な専門性を有する人材を生かした組織づくりと運営	園運営に関わる多様な人材及び教職員が自らの専門性や職の特性を発揮できるようにするために、それぞれの役割を適切に分担し、園運営に参画する機会を一層拡大するとともに、常に園の組織及び運営を見直し、組織全体としての総合力を高めている。
		業務改善・効率化働き方改革の推進	教職員の在校等時間を把握し、限られた時間や資源を効率的に使い、教育目標を達成するよう、教職員の働き方改革やメンタルヘルス維持の意識を持って業務に当たっている。また、園運営に関わる多様な人材との協働及び教職員の業務分担・組織体制の見直し、ミドルリーダーの活躍の促進等に取り組んでいる。
		危機管理体制の構築	教職員に使命感や倫理観の自覚を促し、不祥事根絶への取組を進めている。また、教職員の役割分担と責任を明確にした危機管理マニュアルを作成し、教職員全体で学校安全に取り組む組織づくりを進め、事故等の未然防止や事故等発生時において、組織的に対応ができるようにしている。
	園外との連携	家庭・地域との連携	家庭や地域に園の経営方針や取組状況等を発信し、共有するとともに、その力を生かし、連携・協働して園運営を行っている。また、学校運営協議会（コミュニティスクール）等の機能を生かして、園・家庭・地域が子供たちの学びの充実のために、熟議し、協働し、活動後の評価をして、また次の活動につなげていくというPDCAサイクルをリーダーシップをとって進めている。
		他学校・園等との連携	自園の課題に応じて他学校・園等（近隣校や同じ課題を持つ園等）の情報を収集し、園運営に生かすとともに、小学校教育との円滑な接続を目指した幼保小連携等、異校種との連携や情報交換を積極的に行っている。
		関係機関等との連携	教育活動を充実するために、外部人材や企業等の参画を促し、園の教育力を高めている。また、園内の諸問題を適切に把握し、状況に応じて外部の専門家や児童相談所、警察などの関係機関と連携・協働して対応している。